

分野	専門分野Ⅱ —小児看護学—	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	小児看護実践論Ⅰ Child Nursing Practice Ⅰ	単位	1
		時間	15
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	小児特有の疾患を理解し、健康上の課題が子どもと家族に及ぼす影響を学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病気や入院が子どもと家族に与える影響を理解する 2. 各発達段階にある子どもの病気の捉え方を理解する 3. 小児病棟の特徴を理解する 4. 小児特有な疾患の病態・治療・検査を理解する 		
評価方法	終講試験：100点 1回目 疾患が与える影響の理解：30点、2～7回目 疾患の理解：70点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学【1】小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院		
参考図書			
メッセージ	疾患や入院が、子どもとその家族にどのように影響するのかを学びます。これは3年次の実習で大事になる視点です。分からないことは、講師にどんどん質問してみましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	病気や入院が子どもと家族に与える影響	病気や入院が子どもと家族に与える影響と、各発達段階にある子どもの病気の捉え方を理解する	病気や入院が子どもと家族に与える影響と、各発達段階にある子どもの病気の捉え方	講義	
2	循環器疾患の子ども の病態・検査・治療	循環器疾患(心不全、先天性心疾患、川崎病)の病態生理を理解する	循環器疾患(心不全、先天性心疾患、川崎病)の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
3	代謝性疾患と腎・泌尿器疾患の子ども の病態・検査・治療	代謝性疾患(糖尿病)と腎・泌尿器疾患(ネフローゼ症候群、糸球体腎炎)の病態生理を理解する	代謝性疾患(糖尿病)と腎・泌尿器疾患(ネフローゼ症候群、糸球体腎炎)の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
4	アレルギー疾患と自己免疫疾患の子ども の病態・検査・治療	アレルギー疾患(気管支喘息)、自己免疫疾患(SLE、)肺炎、細気管支炎の病態生理を理解する	アレルギー疾患(気管支喘息)、自己免疫疾患(SLE)、肺炎、細気管支炎の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
5	消化器疾患の子ども の病態・検査・治療	消化器疾患(食道閉鎖、腸閉塞、肥厚性幽門狭窄症、鎖肛、腸重積、急性胃腸炎、胆道閉鎖症)の病態生理を理解する	消化器疾患(腸閉塞、肥厚性幽門狭窄症、腸重積、急性胃腸炎、胆道閉鎖症)の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
6	血液・悪性疾患の子ども の病態・検査・治療	血液・悪性疾患(白血病、紫斑病、血友病)の病態生理を理解する	血液・悪性疾患(白血病、紫斑病、血友病、)の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
7	感染症、神経疾患の子ども の病態・検査・治療	感染症(麻疹、風疹、水痘、インフルエンザ、突発性正発疹)、神経疾患(熱性けいれん、てんかん)の病態生理を理解する	感染症(麻疹、風疹、水痘、インフルエンザ、突発性正発疹)、神経疾患(熱性けいれん、てんかん、髄膜炎)の病態生理と治療	講義	外部講師 小児科 医師
8			終講試験		

